

世界医学教育連盟（WFME）グローバルスタンダード準拠医学教育分野別評価
基準日本版 前文

大学は教育の質保証を継続して自律的に行う教育機関であり、認証制度は国内あるいは国際社会で各大学の質保証の過程と結果を認知する過程である。医師という世界に共通の専門職を育成する医科大学・医学部の教育が、国際的に認知されることは今後の国際動向である。医学教育分野別評価基準日本版はこのような視点で策定されなくてはならない。

医学教育分野別評価基準日本版（世界医学教育連盟グローバルスタンダード準拠）案は、日本医学教育学会医学教育分野別評価基準策定委員会が作成した。これは案であり、今後学会、関連組織団体、社会からの意見を広く聴取し最終版を作成する。この過程を含めて、本基準案については以下の配慮がされている。

1. 本基準は将来医科大学の国際認証制度が実施されることを前提に、国際認証で用いられる世界医学教育連盟グローバルスタンダードに「準拠」している。グローバルスタンダードに含まれる水準（基本的ならびに質的向上のための水準）および注釈を、意識し日本版基準とした。
2. グローバルスタンダードを日本に適応する際に、考慮すべき事項について「日本版注釈」として付記してある。この方式は、グローバルスタンダードヨーロッパ版と同じである。
3. グローバルスタンダード原文は、具体的数値基準あるいは外形基準が明確でない。これは、教育制度の異なる世界の医学教育に画一的な基準値を設定できないことと、教育質保証のための基準は各教育機関が、理念と目標に従って作成することが原則であることによる。ただし、実際に国内で認証評価・外部評価が行われる際には、共通する領域には具体的指針が示されても良いと考えられる。この点については、基準ではなく、今後基準が認知された後に策定される評価手順の中で対応することを考えている。

日本医学教育学会医学教育分野別評価基準策定委員会
委員一同

(注) なお、本基準案の参考となった「World Federation for Medical Education Global Standards for Quality Improvement : 世界医学教育連盟 (WFME) グローバルスタンダード 2003 年版」は医学教育振興財団平成 21 年度医学教育研究助成金を受け、東京女子医科大学医学部医学教育学講座で原文を翻訳したものである。